

## 3 万年前の航海 徹底再現プロジェクト

### 丸木舟の海上テスト（館山）

#### 「外洋テストで黒潮分流の横断に成功しました」

石斧で作った丸木舟の海上テストを千葉県館山近海にて行った結果、これまでの草束舟や竹筏舟とは異なって、この舟が黒潮を越える潜在性を有していることが確認されました。

#### 【館山海上テスト日程・場所】

第一レグ 9/28～10/6

第二レグ 10/14～10/18

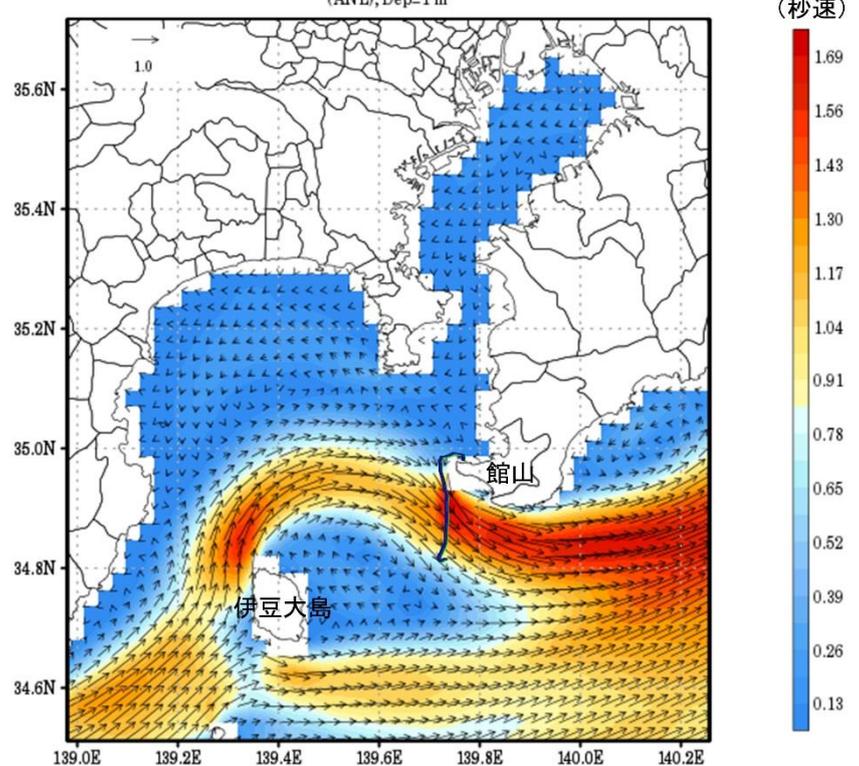
ベースキャンプ：東京海洋大学館山ステーション（千葉県館山市坂田 670）

#### 【第一レグの成果】

証拠が乏しい 3 万年前の舟について、初期デザイン担当者（考古学者）、作り手（大工）、使い手（漕ぎ手）の 3 者がそれぞれの立場から意見を交わし、海上テストを繰り返しながら、3 万年前としてあるべき形状を探る共同作業を行いました。その結果、当初あった不安定さなどが劇的に改善され、外洋航海に耐える舟ができつつあるという感触を得ています。

10 月 3 日には伊豆大島沖まで 26km の遠征を行い、結果的に秒速 1～1.7m で流れていた幅 13km ほどの黒潮の帯（台湾～与那国島間の黒潮の流速と同等）を横断しました（右図）。総じて、今回の丸木舟は、草束舟・竹筏舟に比べて不安定で転覆し易い性質がありますが、これらを上回る速度と操作性を発揮することがわかりました。

Bckgr: Mag of Daily Sea Current [m/s]+Daily Sea Current [m/s]; 20 181003 12:00 UTC (ANL); Dep=1 m



10 月 3 日の航跡（紺色の線）。海流図は海洋研究開発機構 JCOPE グループウェブ画像より。

## 【第二レグの目的とスケジュール】

第一レグにおいて外洋での機能性を確認し、完成に近づいていると思われる今回の丸木舟ですが、バランス調整など、まだ改善の余地があります。3万年前チームの漕ぎ手にとっても初体験の舟ですから、使いこなすために漕ぎ練習を重ねなければなりません。この2つを第二レグの主目的とします。

さらに今後は、航海を成功させるために、舟だけでなく漕ぎ手、つまり「人間自身がどうあるべきか」が、プロジェクトのもう1つの焦点となってきます。丸木舟をという原始的な舟で、近代航海機器を持たずに島を目指した祖先たちの姿を、3万年前チームの漕ぎ手たちがどう描いてくれるのか。プロジェクトの今後にご期待ください。

## <現地取材・記者会見>

以下のリリースでお知らせしましたとおり、10/17 午後に、東京海洋大学館山ステーション（千葉県館山市坂田 670）にて、上記内容等について現地説明会を行ないます。実験用の舟を実際にご覧頂く貴重な機会となりますので、お越し頂ければ幸いです。

<http://www.kahaku.go.jp/procedure/press/pdf/324023.pdf>

予定している内容

- ・ 丸木舟のテスト結果についての解説
- ・ 伴走船に乗船して館山湾内での丸木舟の走行をご覧頂きます（撮影自由）
- ・ 記者の皆様の丸木舟乗船体験（時間の余裕がある場合）

※ 濡れてよい格好でお越しください

**報道用に以下の画像を提供できます**

次からダウンロードしてください (10月16日まで)

<http://firestorage.jp/download/34eb9bed03ba30c928cebbe7dcc3ccb7a4c66888>

ダウンロードパスワード bt38jnyz

- ・使用目的は今回の報道に限らせて頂きます。
- ・クレジット表記：①～③ 3 万年前の航海 徹底再現プロジェクト  
④海洋研究開発機構 JCOPE グループウェブ画像
- ・トリミングして構いません。
- ・①～③は今回の第一レグ (9/28～10/6) で撮影した丸木舟です。



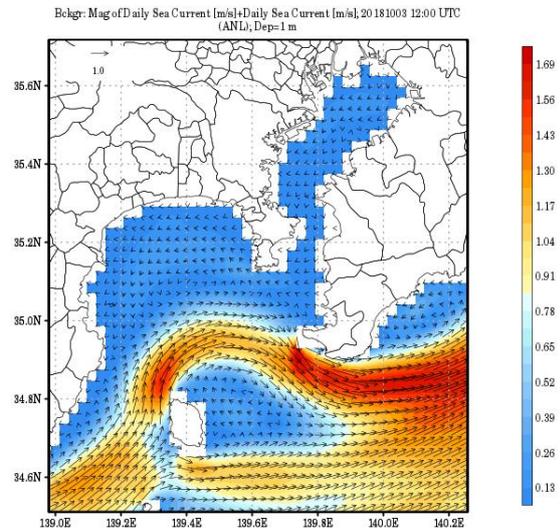
① 館山湾内でのテスト (10/2)



② 館山湾内でのテスト (10/2)



③ 黒潮分流の上を航行 (10/3)



④ 10/3 の海流図。海洋研究開発機構 JCOPE グループウェブ画像。